平成28年6月17日

学校長　様

担当者　様

　学校法人静岡理工科大学

静岡北中学校・高等学校

校長　廣住　雅人

（公　印　省　略）

**「21世紀の中高生による国際科学技術フォーラムShizuoka Kita Youth Science Engineering Forum 2016」**

**における課題研究発表会　参加校募集**

向暑の候、各校におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、平成28年8月に「21世紀の中高生による国際科学技術フォーラム（SKYSEF2016）」を開催する運びとなりました。

SKYSEFでは、生徒が一堂に会する環境にいるからこそ経験できることを大切にしていきたいと思っております。その一つのあり方として、課題研究に関する質疑応答や科学的議論を充実させ、多様な国内外の生徒たちが、英語による科学コミュニケーションを着実かつ集中的に行うことを目指していきます。

今年度は、SKYSEFのプログラムのうち基調講演と課題研究発表の部分について、国立研究開発法人科学技術振興機構によるSSH交流会支援の採択を得ることができました。この機会をぜひご活用いただき、国内外の生徒との課題研究交流を通して活発な議論を展開していただきたいと願っております。

なお、本課題研究発表会の参加にあたっては、参加上限を生徒2 名・教員1 名・校長先生など管理職の先生の合わせて4名までとさせていただきます。また、参加に伴う食費・宿泊費・交通費を参加校負担とさせていただきたく存じます。参加校の皆様には御不便をおかけしますが、何卒御理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

参加お申し込みに当たっては、添付の“SKYSEF2016のアウトライン”を熟読のうえ、Form1を**平成28年7月7日（木）までにE-mailにて**御返送下さい。受領後、本校より今後御提出いただく書類を送付させていただきます。

本フォーラムが素晴らしいものとなりますよう、関係各位の御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

本件に関する問合せや各書類送信先

学校法人　静岡理工科大学　静岡北中学校・高等学校　担当：高橋みどり

〒420-0911　静岡県静岡市葵区瀬名5丁目14番1号

Tel: 054-261-5801　　　Fax: 054-262-5573

E-mail: SKYSEF”\_at\_”shizuokakita-h.ed.jp (“\_at\_”を@に変えてください。)

SKYSEF2016における課題研究発表会のアウトライン

1.　本発表会の目的は、自らの研究結果に基づいてコミュニケーションする場を中高生に提供し、国内外の生徒と議論することによって、生徒は科学研究の諸能力を高め、教員は効果的な指導法を構築することです。

2.　SKYSEFは、平成28年8月11日（木）に清水テルサにおいて以下の通り開催します。

　　 9：00 開会式

　　 9：30 基調講演

　　11：00 口頭発表会

　　12：30 昼食

　　13：30 口頭発表会（続き）

　　15：00 ポスターセッション

　　17：30 終了、解散

清水テルサ：静岡県静岡市清水区島崎町223　（電話：054-355-3111）

3.　参加対象生徒は中学校1年－高等学校3年の生徒です。

4.　SKYSEF2016での使用言語は英語です。

5.　プログラム

(1) 基調講演

　　　大阪大学医学部　吉澤剛先生

レギュラトリーサイエンスの概要及び社会における状況についてお話しいただきます。

(2) 口頭発表

　　　各参加校は必ず英語での口頭発表を一つ行ってください。発表は15分間で、続いて質疑応答が10分間設定されています。パーソナルコンピューターやプロジェクターなどの発表に必要な機器は、静岡北高等学校が用意します。各分科会に複数名の研究者の審査員（助言者）を配置します。

< 研究発表分野>

**Session 1)　エネルギー**

　　　世の中の人々は、水やエネルギー問題を解決するような技術を開発してきた。私たちは、生活を安全かつ豊かにさせるべく科学技術を進歩させてきた。生き物の多様性を守り持続可能な社会を実現させるために、私たちは科学技術を開発し続けなければならない。

**Session 2)　環境**

　　　私たちは自然の生態系から与えられたたくさんの資源やプロセスの恩恵を受けている。これらの恩恵は「生態系サービス（生態系の公益的機能）」として知られ、水質浄化やごみの分解のプロセスなどが含まれる。「生態系サービス」を理解するために、生物と環境の原理やそれらの相互作用に横たわっている生態系についてよく知っていなければならない。持続可能な社会を実現するために、私たちは地域の環境におけるこれらの問題の解決法を模索し続けなければならない。

**Session 3)　生物多様性**

命の多様性－生物多様性－は、水質汚染や大気汚染、外来種など、環境に関係した問題により脅かされている。地球上の素晴らしい豊かな命の多様さを守るために、私たちは地域環境を保全する方法を探していかなくてはならない。

(3) ポスターセッション

発表件数は各校2件（一件あたりのポスター数は1枚）までとさせていただきます。静岡北高等学校では、ポスター掲示用に高さ180cm、幅90cmのパネルを発表一件につき1枚用意します。ポスターは印刷して御持参ください。

(4)その他

 ・ 各校の最大参加者数は、生徒2名、教員1名、校長（又は教頭等管理職、該当があれば）です。

 ・ 教員の方々には、口頭及びポスター発表の際に議論を促進するお手伝いをしていただきます。

　・ 参加教員の方々には口頭発表のコメンテーターをお願いすることもありますので、御了承ください。お願いする場合には事前に御連絡いたします。

　・ 提出された個人情報は、SKYSEF2016実施にかかる諸手続きの目的以外には使用しません。

　・ 申し訳ありませんが、食費・宿泊費・往復交通費は参加校でご負担いただきます。何卒ご了承ください。

　・ なお、SKYSEF2016の会期は平成28年8月10－13日ですが、SSH交流会支援枠の対象は11日の基調講演及び課題研究発表（口頭・ポスター）となっております。

|  |
| --- |
| お問い合わせと書式送付先：高橋みどり（SSH事業推進担当）電話: 054-261-5801　　　FAX: 054-262-5573Eメール: SKYSEF”\_at\_”shizuokakita-h.ed.jp (“\_at\_”を@に変えてください。) |